

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	(1) 生徒の個性や創造性を伸ばし、意欲や探究心を高める6年間の一貫した教育課程編成に取り組む。 (2) 思考力・判断力・表現力及びコミュニケーション能力の育成を図る組織的な授業改善に取り組む。	(1) 中高一貫の特長を生かし、意欲や探究心を高め、多様なニーズに対応できる教育課程の開発を行う。 (2) アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、生徒の主体的な学習により新たな学力の育成を図るための授業研究に取り組む。	(1) 新学習指導要領及び大学入試改革を見据え、多様なニーズ対応できる教育課程開発を検討する。 (2) アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた活動例に触れながら、思考力・表現力と知識・技能をバランスよく育成する授業を研究する。	(1) 新学習指導要領及び大学入試改革に関する学習会を実施できたか。 授業時数確保に向けた改革案を検討できたか。 (2) アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業を実践できたか。教科ごとに、テーマに沿った授業研究を検討できたか。					
2 生徒指導・支援	(1) 生徒一人ひとりの特性や抱える課題を見極め、問題解決に向けて、組織的な生徒支援体制を構築する。 (2) 平塚中等生として誇りを持たせ、自覚を促す生活規律を確立し、思いやりの心を持ったリーダーを育成する。	(1) 生徒の特性を多面的に理解するため、情報の共有と外部機関との連携を推進する支援体制を充実させる。 (2) 生徒の規範意識を高め、母校に対する誇りを持たせることにより、社会のリーダーとしての人格を育成する。	(1) 生徒一人ひとりの特性や課題を迅速に把握し、生徒情報共有会等を通じ全体で共有する。また、保護者等との連携を密にし、外部機関との連携を考えた構内支援体制を構築する。 (2) 道徳の授業、LHR、委員会活動を通じ、生徒の規範意識を高める。	(1) 生徒の特性や課題を迅速に把握し、適切な支援体制が取れ、ケース会議等を通じて情報を共有し生徒理解につなげることができたか。 (2) 生徒の規範意識を高めるような活動ができたか。					
3 進路指導・支援	(1) 多彩な体験活動を通して、豊かな人間性と次世代を担うリーダーを育成するとともに、生徒一人ひとりの進路実現に向けて、生徒が意欲的に取り組めるように支援する。	(1) キャリア教育実践プログラムを検証し、多彩な体験活動を充実させ、豊かな人間性や社会観・世界観を備えたリーダーを育てる。また、生徒が、意欲的に進路実現を図る取り組みを進める。	(1)-a 多彩な体験活動を効果的に実施し、自分の将来像を具体化させるとともに、学校行事、部活動等を通じて自主自立の精神を備えたリーダーを育成する。	(1)-a 事後のアンケート調査等を通じ、多彩な体験活動や学校行事・部活動等により、自己の将来像を具体化できるようになったことや利便性を発揮できるようになったことが確認できたか。					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
				(1)-b 進路説明会、講演会、大学模擬授業などの行事や講習、模擬試験等を効果的に実施し、生徒の進路に対する意識を高める。	(1)-b 進路行事や講習、模擬試験等を通じ、進路に対する意識が高まったか。				
4	地域等との協働	(1)積極的に情報発信をするとともに、地域との協働を進め、地域・保護者に信頼される学校づくりを推進する。	(1)地域との協働・連携により生徒の活動の場を広げ、地域社会に貢献する意識を高める。	(1)-a 学校ホームページや学校紹介パンフレットの内容・デザイン等を見直し、効果的な情報発信や情報収集をする。 (1)-b 地域・保護者と連携した防災への対応準備を行う。 (1)-c 小学校・聾学校・盲学校との交流内容を充実させ、同じ地域に生きるものとして信頼関係の構築に努める。	(1)-a 学校ホームページやパンフレットを改善し、効果的な情報発信や収集ができたか。 (1)-b 地域自治会と避難所運営に関する課題についての確認ができたか。 (1)-c 小学校・聾学校・盲学校との交流内容を充実させることができたか。				
5	学校管理 学校運営	(1)職員一人ひとりが事故不祥事防止に努め、自校に愛着を持ち、前向きに学校運営に参画することで「チーム学校」を構築する。 (2)生徒、職員の防災意識の醸成を図り、安全で安心な学校づくりを推進する。	(1)事故不祥事防止を徹底し、教職員の意識啓発や資質の向上を図る。また、職員の意見が企画に反映されるような職場作りを推進する。 (2)日常における防災意識の向上を図り、緊急時の対応力や地域に貢献できる力を育成する。	(1)業務を整理し、業務環境を整えるとともに、各業務に関する詳細なマニュアルを作成し適切に業務を遂行する。また、職員間の情報共有を推進し、事故防止に努める。 (2)防災マニュアルのスリム化等により、防災時により迅速な対応が可能になるよう一層の整備をする。また、効果的な防災訓練により生徒・職員の防災意識の醸成を図る。	(1)全体で業務環境の検討・整備を行うことができたか。各業務についてのマニュアルを作成し、適切に業務を遂行できたか。 (2)最新の防災マニュアルに更新し、防災意識や対応力の育成ができたか。				